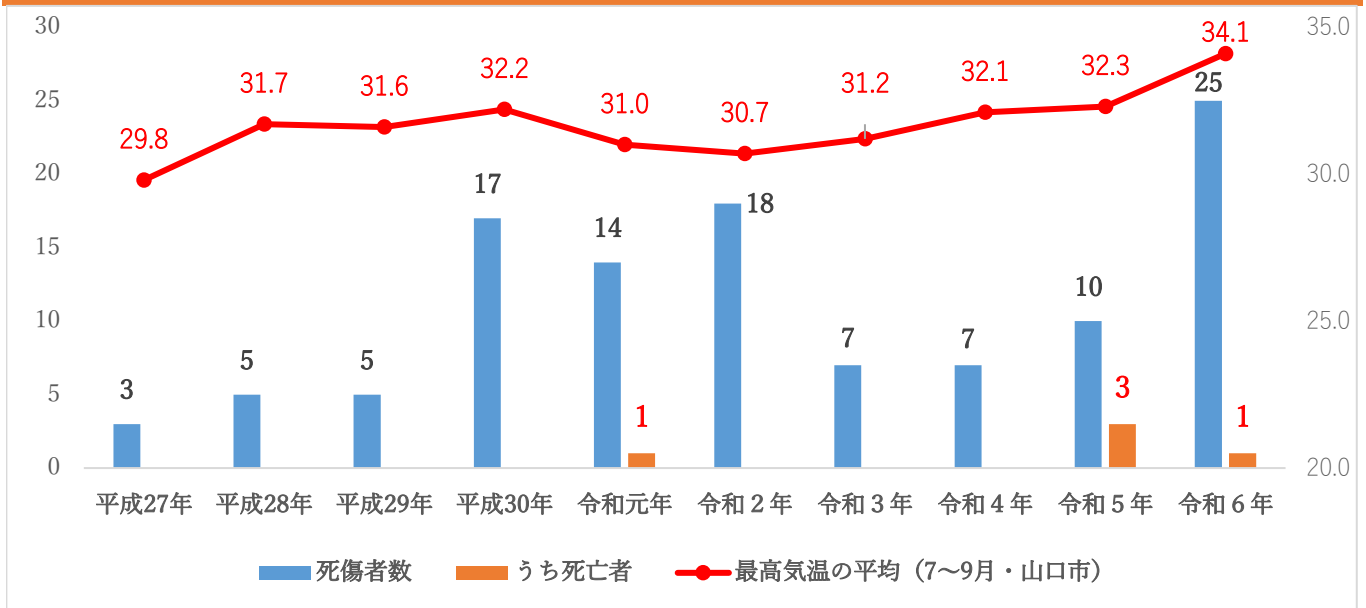


STOP! 熱中症

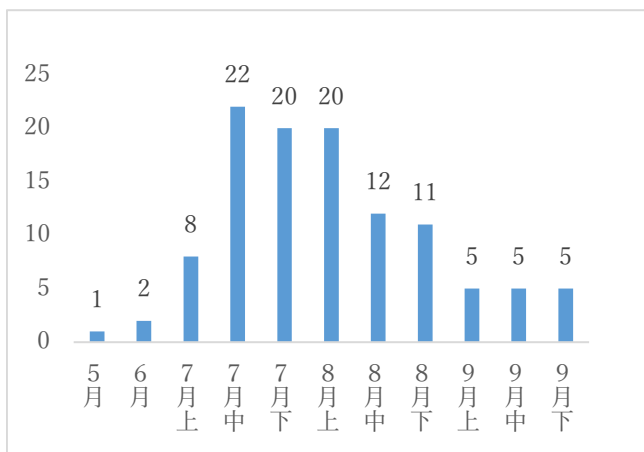
山口県内における熱中症による休業4日以上の労働災害は、過去10年間で111人が被災し、**死亡者は令和5年、6年と2年連続して発生しました。**

暑い夏に要注意!



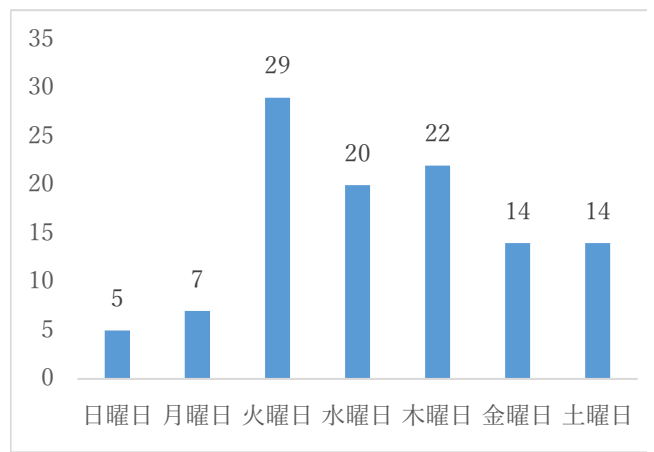
令和6年は、過去10年で最も暑く、被災者も最も多く発生し、前年から2.5倍増加しました。

7月に入ったら要注意!



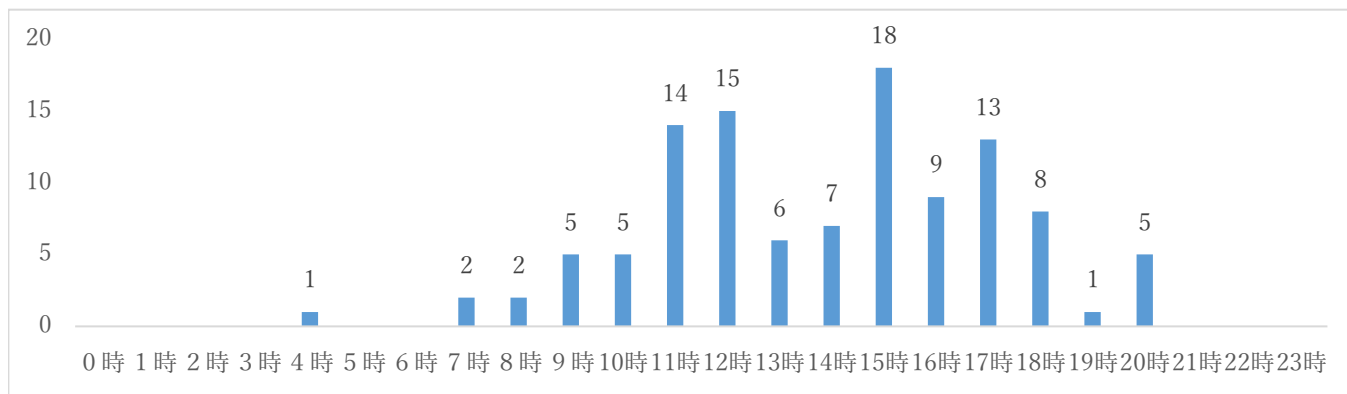
梅雨が明ける7月中旬以降から急激に増加していますので、十分に注意しましょう。

火曜日以降は要注意!



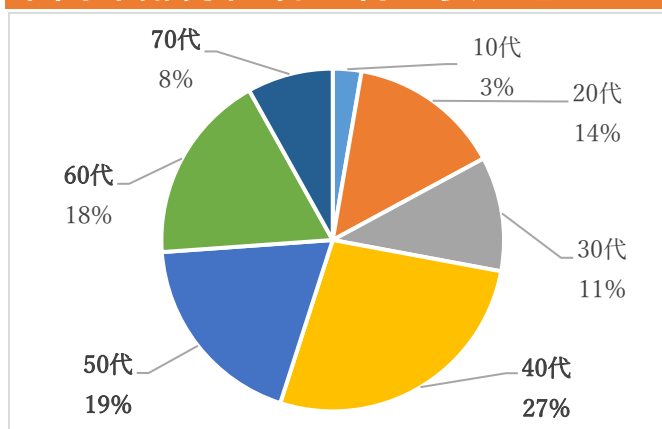
十分な睡眠により疲労の蓄積を防ぐ等、体調管理に努めましょう。

気温のピークとなる昼前から要注意！



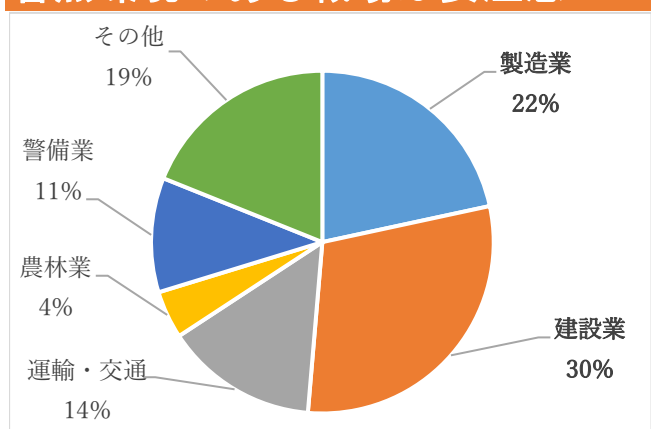
暑さ指数に応じて、作業の中断、短縮、休憩時間の確保、水分及び塩分補給等を行いましょう。

中高年齢労働者は特に要注意！



40歳代以上で7割強を占めています。

暑熱環境のある職場は要注意！



屋外だけでなく、屋内でも発生します。

熱中症を予防するため！

□ WBGT値を把握しましょう

JIS規格に適合したWBGT指数計でWBGT値を測りましょう

□ WBGT値に応じた熱中症リスクの低減措置をとりましょう

□ のどの渇きに関係なく、定期的に水分・塩分を摂りましょう

チューイカン吉

□ 具合が悪くなったときは、一旦作業を離れ涼しい所で休憩しましょう

熱中症が疑われるときは

全身を濡らして送風することなどにより体温を低減する、体調不良の者に異常を認めたときは医療機関への受診（必要に応じて救急隊の要請）などを措置しましょう。県内では、具合が悪くなった労働者を自動車内で休憩させていたところ、容体が急変して車内で亡くなった事案があります。一人きりで放置しないことが大切です。



学ぼう！備えよう！職場の仲間を守ろう！
職場における熱中症予防情報
<https://neccyusho.mhlw.go.jp/>